

Silk Test 17.5

Silk4J クイックスタートチュートリアル
リアル

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

Copyright © Micro Focus 1992-2016. All rights reserved.

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ及び Silk Test は Micro Focus IP Development Limited
またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。


2016-11-03

目次


Silk4J クイック スタート チュートリアル	4
Silk4J の起動	4
Silk4J プロジェクトの作成	4
Insurance Company Web アプリケーションのテストを記録する	5
Insurance Company Web アプリケーションのテストを再生する	7

Silk4J クイック スタート チュートリアル

このチュートリアルでは、Silk4J を使用し、動的オブジェクト解決を用いた Web アプリケーションのテストが行えるよう、導入手順をステップ by ステップで提供します。動的オブジェクト解決により、オブジェクトを検索し識別する XPath クエリを使用した、テストケースの記述が可能になります。

 **重要:** このチュートリアルでの作業をスムーズに完了させるには、Java および JUnit の基礎知識が必要となります。

説明をより簡潔にするため、本ガイドでは Silk4J がすでにインストールされており、<http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/> から入手可能なサンプルの Insurance Company (保険会社) Web アプリケーションを使用することを前提にしています。

 **注:** Silk4J を実行するには、ローカルの管理者権限を持っている必要があります。


サンプルのスクリプトやアプリケーションの情報など、Silk4J の詳細については、『Silk4J ユーザー ガイド』を参照してください。このガイドを参照するには、Eclipse で **ヘルプ** > **ヘルプ目次** を選択し、**Silk4J ユーザー ガイド** をクリックします。

Silk4J の起動

1. (Microsoft Windows 7) **スタート** > **すべてのプログラム** > **Silk** > **Silk Test** > **クライアント > Silk4J**、または (Microsoft Windows 10) **スタート** > **Silk** > **Silk4J** をクリックします。
デフォルトのワークスペースの場所を指定していない場合、または Silk4J をはじめて起動する場合は、**ワークスペース起動ツール** ダイアログ ボックスが開きます。
2. ワークスペースの場所を指定して、**OK** をクリックします。

Silk4J プロジェクトの作成

新規 Silk4J プロジェクト ウィザードを使用して Silk4J プロジェクトを作成する際、このウィザードには、**新規 Java プロジェクト** ウィザードを使用して Java プロジェクトを作成する際に利用できるオプションと同じものが含まれています。さらに、この Silk4J ウィザードでは、Java プロジェクトを自動的に Silk4J プロジェクトにします。

1. Eclipse ワークスペースで、次のステップのいずれかを行います：
 - Silk Test ツールバー アイコン  の隣にある、ドロップダウン矢印をクリックし、**新規 Silk4J プロジェクト** を選択します。
 - **パッケージ エクスプローラ** で右クリックし、**新規** > **その他...** を選択します。Silk4J フォルダを展開し、**Silk4J プロジェクト** をダブルクリックします。
 - 既存の Eclipse の場所へ Silk4J をインストールまたは更新した場合には、**ファイル** > **新規** > **その他...** を選択します。Silk4J フォルダを展開し、**Silk4J プロジェクト** をダブルクリックします。**新規 Silk4J プロジェクト** ウィザードが開きます。
2. **プロジェクト名** テキスト ボックスに、プロジェクトの名前を入力します。
たとえば、*Tutorial* と入力します。
3. キーワード駆動テストまたは Silk Central を使用した構成テストを実行したい場合で、有効な Silk Central ライセンスを持っているのであれば、**Silk Central に接続** チェック ボックスをオンにして、キーワード駆動テスト用に Silk Central へのセットアップを設定します。

Silk Central サーバーは、この新しいプロジェクトだけではなく、すべてのプロジェクトに対して設定されます。

a) Silk Central Connect を使用した構成テストのためにプロジェクトを使用するには、**Silk Central Connect にプロジェクトを保存** チェック ボックスをオンにします。

Silk Central Connect に関する追加の情報については、『[Silk Central Connect ヘルプ](#)』を参照してください。

4. **次へ** をクリックします。**アプリケーションの選択** ページが開きます。

5. 現在のプロジェクトに対してアプリケーション構成が設定されていない場合、テストするアプリケーションの種類に対応するタブを選択します。

- ブラウザで実行しない標準アプリケーションをテストする場合は、**Windows** タブを選択します。
- Web アプリケーションまたはモバイル Web アプリケーションをテストする場合は、**Web** タブを選択します。
- ネイティブ モバイル アプリケーションをテストする場合は、**モバイル** タブを選択します。

6. 標準アプリケーションをテストするには、現在のプロジェクトに対してアプリケーション構成が設定されていない場合は、リストからアプリケーションを選択します。

7. Web アプリケーションまたはモバイル Web アプリケーションをテストするには、現在のプロジェクトに対してアプリケーション構成が設定されていない場合は、リストからインストール済みのブラウザまたはモバイル ブラウザのうちの 1 つを選択します。

移動する URL の入力 テキスト ボックスに、開く Web ページを指定します。選択したブラウザのインスタンスが既に実行されている場合、**実行中のブラウザの URL を使用する** をクリックして、実行中のブラウザ インスタンスに現在表示されている URL の記録を行うことができます。チュートリアルの場合、**Internet Explorer** を選択し、**移動する URL の入力** テキスト ボックスに <http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/> を指定します。

8. 現在のプロジェクトに対してアプリケーション構成が設定されていない場合に、ネイティブ モバイル アプリケーション (アプリ) をテストするには :

a) アプリをテストするモバイル デバイスをリストから選択します。

b) **参照** をクリックしてアプリ ファイルを選択するか、アプリ ファイルへの完全パスを **モバイル アプリ ファイル** テキスト フィールドに入力します。

このパスでは、Silk4J は HTTP および UNC 形式をサポートします。

Silk4J は、モバイル デバイスまたはエミュレータ上に指定したアプリをインストールします。

9. **終了** をクリックします。JRE システム ライブラリと必要な .jar ファイル (silktest-jtf-nodeps.jar と junit.jar) を含んだ、新しい Silk4J プロジェクトが作成されます。**プロジェクトが作成されました** ダイアログ ボックスが開きます。

10 記録するテストのタイプを選択します。

- 記録した操作をキーワードにまとめる場合は、**Silk4J キーワード駆動テスト** を選択します。
- キーワードを作成せずにテストを記録する場合は、**Silk Test JUnit テスト** を選択します。

チュートリアルでは、**Silk Test JUnit テスト** を選択します。

11 **はい** をクリックすると新しい Silk4J テストの記録が開始され、**いいえ** をクリックすると Eclipse ワークスペースに戻ります。

チュートリアルでは、**いいえ** をクリックします。

Insurance Company Web アプリケーションのテストを記録する

Silk4J テストを作成する前に、Silk4J プロジェクトを作成する必要があります。

Insurance Company Web アプリケーション (<http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/>) で **Agent Lookup** ページまで移動する新しいテストを記録します。テクノロジーの種類ごとにテストを記録

する方法やテストアプリケーションを設定する方法の詳細な説明については、『Silk4J ユーザー ガイド』の「テストの作成」セクションを参照してください。

1. ツールバーで、**操作の記録** をクリックします。テスト対象アプリケーションと **記録中** ウィンドウが開き、Silk4J は基本状態を作成し、記録を開始します。
2. Insurance Company Web サイトでは、次のステップのいずれかを行います：
 - a) **Select a Service or login** リスト ボックスから **Auto Quote** を選択します。 **Automobile Instant Quote** ページが開きます。
 - b) 郵便番号と電子メール アドレスを適切なテキスト ボックスに入力し、自動車タイプをクリックして、**Next** をクリックします。
たとえば、郵便番号に 92121、電子メール アドレスに jsmith@gmail.com をそれぞれ入力し、自動車タイプとして Car を指定します。
 - c) 年齢を指定し、性別と運転履歴タイプをクリックして、**Next** をクリックします。
たとえば、年齢に 42 を入力し、性別と運転履歴タイプに Male および Good をそれぞれ指定します。
 - d) 製造年、車種、モデルを指定し、財務情報タイプをクリックして、**Next** をクリックします。
たとえば、製造年に 2010 と入力し、車種とモデルに Lexus および RX400 をそれぞれ指定し、財務情報タイプとして Lease を指定します。
指定した情報の概要が現れます。
 - e) 指定した **Zip Code** をポイントし、Ctrl+Alt を押して、スクリプトに検証を追加します。
表示されたどの情報に対しても、検証を追加することができます。
検証タイプの選択 ダイアログ ボックスが開きます。
 - f) プロパティの検証を作成するか、イメージ検証を作成するかを選択します。
チュートリアルの場合、**TestObject のプロパティの検証** を選択します。
プロパティの検証 ダイアログ ボックスが開きます。
 - g) **TextContents** チェック ボックスをオンにし、**OK** をクリックします。検証操作が、郵便番号テキストに対するスクリプトに追加されます。
 - h) **Home** をクリックします。
各ステップに相当する操作が記録されました。
3. **停止** をクリックします。**記録完了** ダイアログ ボックスが開きます。
4. **ソース フォルダ** フィールドは、選択したプロジェクトのソース ファイルの場所で、自動的に埋められています。別のソース フォルダを使用するには、**選択** をクリックし、使用するフォルダまで辿っていきます。
5. 省略可能：**パッケージ** テキスト ボックスに、パッケージ名を指定します。
たとえば、次のように入力します：com.example。
既存のパッケージを使用するには、**選択** をクリックし、使用するパッケージを選択します。
6. **テスト クラス** テキスト ボックスに、テスト クラスの名前を指定します。
たとえば、次のように入力します：AutoQuoteInput。
既存のクラスを使用するには、**選択** をクリックし、使用するクラスを選択します。
7. **テスト メソッド** テキスト ボックスに、テスト メソッドの名前を指定します。
たとえば、次のように入力します：autoQuote。
8. **OK** をクリックします。

テストが期待通りの動作をするか確認するためにテストを再生します。必要な場合には変更をするために、テストを編集することも可能です。

Insurance Company Web アプリケーションのテストを再生する

1. パッケージ エクスプローラーで **Tutorial** プロジェクトを展開します。
2. **AutoQuoteInput** クラスを右クリックし、**実行 > Silk4J テスト** を選択します。再生をサポートしている複数のブラウザーがマシンにインストールされている場合、**ブラウザーの選択** ダイアログ ボックスが開きます。
3. ブラウザーを選択して、**実行** をクリックします。テストの実行が完了すると、**再生完了** ダイアログ ボックスが開きます。
4. **結果の検討** をクリックして、完了したテストの TrueLog を確認します。この例では、テスト アプリケーションの **Zip Code** フィールドがクリーンでないため、検証は失敗します。